

様式第 8

平成 2 7 年度循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
名古屋地域	名古屋市、清須市、北名古屋市、あま市（甚目寺地区） 豊山町、北名古屋衛生組合	平成20年4月1日 ～平成27年3月31日	平成20年4月1日 ～平成27年3月31日

1 目標の達成状況  
(ごみ処理) 【4市1町】

指 標	現状 (割合※ 1, 4) (平成 2 3 年度)	目標 (割合※ 1, 4) (平成 2 7 年度) A	実績 (割合※ 1) (平成 2 7 年度) B	実績B/目標A	
排出量	事業系 総排出量	210,662t	182,446t (-13.4%)	216,326t ( 2.7%)	118.6%
	1 事業所あたりの排出量(※ 2)	1.58t	1.37t (-13.5%)	1.62t ( 2.5%)	118.2%
	家庭系 総排出量	537,536t	557,642t ( 3.7%)	523,500t (-2.6%)	93.9%
	1 人あたりの排出量 (※ 3)	188kg/人	185kg/人 (-1.9%)	184kg/人 (-2.1%)	99.5%
合 計 事業系家庭系総排出量合計	748,198t	740,088t (-1.1%)	739,826t (-1.1%)	100.0%	
再生利用量	直接資源化量	4,450t ( 0.6%)	4,270t ( 0.6%)	3,936t ( 0.5%)	92.2%
	総資源化量	229,325t ( 30.7%)	307,906t ( 41.6%)	200,626t ( 27.1%)	65.2%
熱回収量	熱回収量 (年間の発電電力量)	249,818MWh	205,489MWh	248,523MWh	120.9%
減量化量	中間処理による減量化量	569,765t ( 76.1%)	541,766t ( 73.2%)	577,093t ( 78.0%)	106.5%
最終処分量	埋立最終処分量	60,379t ( 8.1%)	42,525t ( 5.7%)	54,211t ( 7.3%)	127.5%

※ 1 排出量は現状に対する割合、その他の指標は排出量に対する割合

※ 2 (1 事業所あたりの排出量) = (事業系ごみの総排出量) / (事業所数)

※ 3 (1 人あたりの排出量) = { (家庭系総排出量) - (家庭系資源量) } / (人口)

※ 4 割合は、端数処理の関係により、表中に記載されている数値を用いて算出すると合わない場合がある。

(ごみ処理) 【名古屋市】

指 標	現状 (割合※1, 4) (平成23年度)	目標 (割合※1, 4) (平成27年度) A	実績 (割合※1) (平成27年度) B	実績B/目標A	
排出量	事業系 総排出量	199,066t	170,597t (-14.3%)	204,990t ( 3.0%)	120.2%
	1事業所あたりの排出量(※2)	1.53t	1.31t (-14.3%)	1.58t ( 3.3%)	120.6%
	家庭系 総排出量	487,710t	506,685t ( 3.9%)	474,417t (-2.7%)	93.6%
	1人あたりの排出量(※3)	186kg/人	183kg/人 (-1.9%)	181kg/人 (-2.7%)	98.9%
合 計 事業系家庭系総排出量合計	686,776t	677,282t (-1.4%)	679,407t (-1.1%)	100.3%	
再生利用量	直接資源化量	448t (0.07%)	299t (0.04%)	437t (0.06%)	146.2%
	総資源化量	219,280t (31.9%)	295,907t (43.7%)	191,401t (28.2%)	64.7%
熱回収量	熱回収量 (年間の発電電力量)	249,818MWh	205,489MWh	248,523MWh	120.9%
減量化量	中間処理による減量化量	521,651t (76.0%)	494,687t (73.0%)	530,493t (78.1%)	107.2%
最終処分量	埋立最終処分量	53,882t (7.8%)	35,024t (5.2%)	47,310t (7.0%)	135.1%

※1 排出量は現状に対する割合、その他の指標は排出量に対する割合

※2 (1事業所あたりの排出量) = (事業系ごみの総排出量) / (事業所数)

※3 (1人あたりの排出量) = { (家庭系総排出量) - (家庭系資源量) } / (人口)

※4 割合は、端数処理の関係により、表中に記載されている数値を用いて算出すると合わない場合がある。

(ごみ処理) 【清須市】

指 標	現状 (割合※1, 4) (平成23年度)	目標 (割合※1, 4) (平成27年度) A	実績 (割合※1) (平成27年度) B	実績B/目標A	
排出量	事業系 総排出量	1,970t	2,000t (1.5%)	2,377t (20.7%)	118.9%
	1事業所あたりの排出量(※2)	0.76t	0.74t (-2.2%)	0.87t (14.5%)	117.6%
	家庭系 総排出量	15,260t	15,031t (-1.5%)	14,739t (-3.4%)	98.1%
	1人あたりの排出量(※3)	203kg/人	198kg/人 (-2.8%)	199kg/人 (-2.0%)	100.5%
合 計 事業系家庭系総排出量合計	17,230t	17,031t (-1.2%)	17,116t (-0.7%)	100.5%	
再生利用量	直接資源化量	1,895t (11.0%)	2,041t (12.0%)	1,502t (8.8%)	73.6%
	総資源化量	3,375t (19.6%)	3,881t (22.8%)	2,421t (14.1%)	62.4%
熱回収量	熱回収量 (年間の発電電力量)	0MWh	0MWh	0MWh	—
減量化量	中間処理による減量化量	13,585t (78.8%)	13,252t (77.8%)	13,141t (76.8%)	99.2%
最終処分量	埋立最終処分量	1,750t (10.2%)	1,738t (10.2%)	2,473t (14.4%)	142.3%

※1 排出量は現状に対する割合、その他の指標は排出量に対する割合

※2 (1事業所あたりの排出量) = (事業系ごみの総排出量) / (事業所数)

※3 (1人あたりの排出量) = { (家庭系総排出量) - (家庭系資源量) } / (人口)

※4 割合は、端数処理の関係により、表中に記載されている数値を用いて算出すると合わない場合がある。

(ごみ処理) 【北名古屋市】

指 標		現状 (割合※1, 4) (平成23年度)	目標 (割合※1, 4) (平成27年度) A	実績 (割合※1) (平成27年度) B	実績B/目標A
排出量	事業系 総排出量	4,411t	5,840t (32.4%)	5,513t (25.0%)	94.4%
	1事業所あたりの排出量(※2)	9.27t	11.34t (22.4%)	9.41t (1.5%)	83.0%
	家庭系 総排出量	20,821t	22,633t (8.7%)	20,235t (-2.8%)	89.4%
	1人あたりの排出量(※3)	207kg/人	202kg/人 (-2.4%)	202kg/人 (-2.4%)	100.0%
	合 計 事業系家庭系総排出量合計	25,232t	28,473t (12.8%)	25,748t (2.0%)	90.4%
再生利用量	直接資源化量	781t (3.1%)	900t (3.2%)	744t (2.9%)	82.7%
	総資源化量	5,226t (20.7%)	6,921t (24.3%)	5,478t (21.3%)	79.2%
熱回収量	熱回収量 (年間の発電電力量)	0MWh	0MWh	0MWh	—
減量化量	中間処理による減量化量	18,931t (75.0%)	19,486t (68.4%)	18,728t (72.7%)	96.1%
最終処分量	埋立最終処分量	2,720t (10.8%)	3,841t (13.5%)	2,857t (11.1%)	74.4%

- ※1 排出量は現状に対する割合、その他の指標は排出量に対する割合  
 ※2 (1事業所あたりの排出量) = (事業系ごみの総排出量) / (事業所数)  
 ※3 (1人あたりの排出量) = { (家庭系総排出量) - (家庭系資源量) } / (人口)  
 ※4 割合は、端数処理の関係により、表中に記載されている数値を用いて算出すると合わない場合がある。

(ごみ処理) 【あま市 (甚目寺地区)】

指 標		現状 (割合※1, 4) (平成23年度)	目標 (割合※1, 4) (平成27年度) A	実績 (割合※1) (平成27年度) B	実績B/目標A
排出量	事業系 総排出量	2,591t	942t (-63.6%)	969t (-62.6%)	102.9%
	1事業所あたりの排出量(※2)	66.44t	20.93t (-68.5%)	21.07t (-68.3%)	100.7%
	家庭系 総排出量	9,895t	9,625t (-2.7%)	10,204t (3.1%)	106.0%
	1人あたりの排出量(※3)	225kg/人	223kg/人 (-0.8%)	228kg/人 (1.3%)	102.2%
	合 計 事業系家庭系総排出量合計	12,486t	10,567t (-15.4%)	11,173t (-10.5%)	105.7%
再生利用量	直接資源化量	834t (6.7%)	523t (4.9%)	827t (7.4%)	158.1%
	総資源化量	834t (6.7%)	523t (4.9%)	827t (7.4%)	158.1%
熱回収量	熱回収量 (年間の発電電力量)	0MWh	0MWh	0MWh	—
減量化量	中間処理による減量化量	10,272t (82.3%)	8,985t (85.0%)	9,452t (84.6%)	105.2%
最終処分量	埋立最終処分量	1,380t (11.1%)	1,059t (10.0%)	894t (8.0%)	84.4%

- ※1 排出量は現状に対する割合、その他の指標は排出量に対する割合  
 ※2 (1事業所あたりの排出量) = (事業系ごみの総排出量) / (事業所数)  
 ※3 (1人あたりの排出量) = { (家庭系総排出量) - (家庭系資源量) } / (人口)  
 ※4 割合は、端数処理の関係により、表中に記載されている数値を用いて算出すると合わない場合がある。

(ごみ処理) 【豊山町】

指 標	現状 (割合※1, 4) (平成23年度)	目標 (割合※1, 4) (平成27年度) A	実績 (割合※1) (平成27年度) B	実績B/目標A	
排出量	事業系 総排出量	2,624t	3,067t (16.9%)	2,477t (-5.6%)	80.8%
	1 事業所あたりの排出量(※2)	22.82t	26.67t (16.9%)	19.05t (-16.5%)	71.4%
	家庭系 総排出量	3,850t	3,668t (-4.7%)	3,905t ( 1.4%)	106.5%
	1 人あたりの排出量 (※3)	227kg/人	216kg/人 (-4.9%)	226kg/人 (-0.4%)	104.6%
	合 計 事業系家庭系総排出量合計	6,474t	6,735t ( 4.0%)	6,382t (-1.4%)	94.8%
再生利用量	直接資源化量	492t ( 7.6%)	507t ( 7.5%)	426t ( 6.7%)	84.0%
	総資源化量	610t ( 9.4%)	674t (10.0%)	499t ( 7.8%)	74.0%
熱回収量	熱回収量 (年間の発電電力量)	0MWh	0MWh	0MWh	—
減量化量	中間処理による減量化量	5,326t (82.3%)	5,356t (79.5%)	5,279t ( 82.7%)	98.6%
最終処分量	埋立最終処分量	647t (10.0%)	863t (12.8%)	677t ( 10.6%)	78.4%

※1 排出量は現状に対する割合、その他の指標は排出量に対する割合

※2 (1 事業所あたりの排出量) = (事業系ごみの総排出量) / (事業所数)

※3 (1 人あたりの排出量) = { (家庭系総排出量) - (家庭系資源量) } / (人口)

※4 割合は、端数処理の関係により、表中に記載されている数値を用いて算出すると合わない場合がある。

2 各施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再使用の推進に関するもの	11	有料化	名古屋市 清須市 北名古屋市 あま市 豊山町	家庭系ごみの有料化についての議論と検討を進める。	H20年度～H26年度(継続)	<p><b>【名古屋市】</b> 他市町村の有料化の導入状況や本市のごみ量が着実に減少している現状から、早急に導入が必要な状況ではないとの考えから有料化の導入を行わなかった。有料化の導入については、ごみ減量の取り組み状況を見極めながら議論と検討を行っていく。</p> <p><b>【清須市】</b> 指定袋制を導入し、処理手数料の一部を指定袋代に上乗せしている。また、粗大ごみについては有料収集を行った。</p> <p><b>【北名古屋市】</b> 社会情勢等を考慮し、有料化の実施を行わなかった。今後検討していく。</p> <p><b>【あま市】</b> 指定袋制を導入し、処理手数料の一部を指定袋代に上乗せしている。また、粗大ごみについては有料収集を行った。</p> <p><b>【豊山町】</b> 可燃ごみについては、近隣市の動向を考慮し、引き続き有料化を検討していく。粗大ごみについては、有料収集を行った。</p>

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再使用の推進に関するもの	12	環境教育	名古屋市 清須市 北名古屋市 あま市 豊山町	循環型社会の重要性などについて、意識を高めていく。	H20年度 ～H26年度 (継続)	<p>【名古屋市】 各種講座・出前授業を実施したほか、「ごみと資源とわたしたち」を作成し小学校へ配布するなど、循環型社会の重要性について啓発した。</p> <p>【清須市】 小学4年生を対象とした環境学習出前講座を実施した。</p> <p>【北名古屋市】 市民を対象とした出前講座等を実施した。</p> <p>【あま市】 リサイクルステーションを常設し、分別の指導を行った。広報による周知を実施した。また、出前講座を実施した。</p> <p>【豊山町】 小学生以上の親子を対象とした環境にやさしい料理教室を実施した。</p>

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再使用の推進に関するもの	13	普及啓発	名古屋市 清須市 北名古屋市 あま市 豊山町	協働を促進するため、わかりやすい環境情報の提供に努める。	H20年度 ～H26年度 (継続)	<p>【名古屋市】 「名古屋ごみレポート」を作成し公表するなど、環境情報の提供を行った。</p> <p>【清須市】 「食育まつり」において「ごみ減量をテーマとした啓発活動」を実施した。また、事業者を訪問し「事業系一般廃棄物ガイドブック」を活用した啓発活動を実施した。</p> <p>【北名古屋市】 広報誌等によりごみ・資源の分別の周知を実施した。また、ごみ減量に関心のある方を対象とした、エコクッキングを年4回実施した。ふれあいフェスタを開催し、循環型社会の重要性を啓発した。</p> <p>【あま市】 ごみの分別と出し方のルールパンフレットを全戸配布し、住民へ分別に対する啓発を行った。</p> <p>【豊山町】 ごみの出し方・分け方パンフレットの全戸配布を行い、住民のごみの分別に対する啓発を行った。</p>

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再使用の推進に関するもの	14	助成	名古屋市 清須市 北名古屋市 あま市 豊山町	市民による資源化の推進やごみ減量の取り組みを支援する。	H20年度 ～H26年度 (継続)	<p><b>【名古屋市】</b>            集団資源回収活動へ事業協力金支給するなど、資源化の取り組みを支援した。</p> <p><b>【清須市】</b>            電動生ごみ処理機等の購入費の補助を行った。また、集団資源回収団体への補助を実施した。</p> <p><b>【北名古屋市】</b>            子ども会・自治会に資源回収に対する補助金を交付した。また、生ごみ処理機等の購入費に対しての補助金を交付した。</p> <p><b>【あま市】</b>            生ごみ処理機の購入費に対しての補助金を交付した。</p> <p><b>【豊山町】</b>            子ども会やPTA等の集団回収の実施に対し、奨励金を交付した。</p>



施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再使用の推進に関するもの	15	マイバック運動・レジ袋対策	名古屋市 清須市 北名古屋市 あま市 豊山町	レジ袋削減運動を手始めに、他の容器包装の削減についても協働の輪を広げていく。	H20年度 ～H26年度 (継続)	<p>【名古屋市】 「容器・包装3R推進実行委員会」との協働により、レジ袋などの容器包装削減の取り組みを実施した。</p> <p>【清須市】 市内スーパー7店舗でレジ袋の有料化を実施した。</p> <p>【北名古屋市】 レジ袋有料化によるマイバック運動の実施。市民の買い物時のレジ袋辞退率9割以上を達成した。</p> <p>【あま市】 市内のスーパー7店舗でレジ袋の有料化を実施した。</p> <p>【豊山町】 町内のスーパー4店舗でレジ袋の有料化を実施した。</p>

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再使用の推進に関するもの	16	再使用の推進	名古屋市 清須市 北名古屋市 あま市 豊山町	市民のリユースの取り組みを支援し、「使い捨て型ライフスタイル」からの転換を図る。	H20年度 ～H26年度 (継続)	<p>【名古屋市】 粗大ごみの修理・展示販売や市民工房を実施した。</p> <p>【清須市】 「循環型社会(リサイクル社会)」の大切さをガイドブック、広報等で市民へ周知した。</p> <p>【北名古屋市】 リサイクルデータバンクの利用、フリーマーケットによるリサイクルを奨励した。</p> <p>【あま市】 広報等による啓発を行った。</p> <p>【豊山町】 環境フェスティバルでフリーマーケットを実施することにより、リユースを推進した。</p>
処理体制の構築、変更に関するもの	21	破砕不燃物等の溶融処理	PFI方式	平成21年度から鳴海工場がガス化溶融炉として稼動することにより、破砕不燃物等も溶融処理する。	H21年度 ～H26年度 (H21年度～継続)	平成21年度より鳴海工場での破砕不燃物等の溶融処理を行った。
	22	市民分別の徹底	名古屋市	分別ルールが定着しにくい共同住宅等について、分別徹底の取組を進める。	H20年度 ～H26年度 (H20年度～継続)	住宅管理会社と組織する協議会による入居者への啓発・指導などを実施した。

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
処理体制の構築、変更に関するもの	23	事業系ごみの分別徹底	名古屋市	排出事業者と収集運搬業者の取り組みを促進する。	H20年度～H26年度 (H20年度～継続)	事業用大規模建築物等への立入調査による指導や、収集運搬業者を通じた排出事業者への働きかけなどを実施した。
処理施設の整備に関するもの	1	最終処分場	名古屋市	最終処分場施設整備	H24年度～H26年度	平成24年度～平成26年度に最終処分場施設整備を実施した。
	参考-1	高効率ごみ発電施設整備 (北名古屋工場(仮称)の建設)	名古屋市	高効率ごみ発電施設の整備	来期実施	—————
	参考-2	エネルギー回収推進施設整備 (富田工場の設備更新)	名古屋市	エネルギー回収推進施設の整備	来期実施	—————
施設整備に係る計画支援に関するもの	31	1の計画支援	名古屋市	最終処分場施設整備のための計画等	H20年度～H23年度	平成20年度に地質調査・測量、平成20～23年度に生活環境影響調査、平成20～22年度に基本設計及び平成22年度に実施設計を実施した。
	32	参考-1の計画支援	名古屋市	高効率ごみ発電施設の整備のための計画等	H25年度～H26年度 (H25年度～継続)	平成25年度に環境影響評価書、平成25～26年度に整備事業者選定(継続:平成27年度)を実施した。

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
施設整備に係る計画支援に関するもの	33	参考-2の計画支援	名古屋市	エネルギー回収推進施設の整備のための計画等	H25年度 ~H26年度 (H25年度 ~継続)	平成25年度に基本設計、平成25~26年度に環境影響評価調査及び平成26年度に実施設計(継続:平成27年度)を実施した。
その他	41	溶融スラグの有効利用の促進	名古屋市 清須市 北名古屋市 あま市 豊山町	活用先を確保しながら埋立の回避に努める。	H20年度 ~H26年度 (H17年度 ~継続)	【名古屋市・清須市・北名古屋市・あま市・豊山町】 道路資材等として活用することで埋立量を削減した。
	42	市民によるプロジェクトの実施		品目ごとの発生抑制・リサイクルなど、課題別に協議の場をつくる。	H21年度 ~H26年度 (H21年度 ~継続)	【名古屋市・清須市・北名古屋市・あま市・豊山町】 課題別ステークホルダー会議を開催した。
	43	不法投棄防止対策		パトロールとカメラによる監視	H20年度 ~H26年度 (継続)	【名古屋市・清須市・北名古屋市・あま市・豊山町】 隣接市町村不法投棄連絡会議の開催や、共同パトロールの実施により、不法投棄対策を行った。

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
その他	44	災害時の廃棄物処理に関する事項	名古屋市 清須市 北名古屋市 あま市 豊山町	名古屋市地域防災計画を踏まえた計画（地震災害）の策定	H20年度 ～H26年度 (H20年度 ～継続)	<p>【名古屋市・清須市・北名古屋市・あま市・豊山町】 平成25年度に愛知県等と災害時の一般廃棄物処理及び下水道処理に係る相互応援に関する協定書を締結し、災害時の対応を強化した。</p> <p>【名古屋市】 名古屋市地域防災計画の策定作業を実施した。(継続：平成28年度まで。)</p> <p>【清須市】 平成26年度に愛知県産業廃棄物協会と災害時における廃棄物の処理等に関する協定を締結し、災害時の対応を強化した。また、災害廃棄物の仮置場、最終処分場の検討を行った。(継続：平成28年度まで)</p> <p>【北名古屋市】 平成26年度に愛知県産業廃棄物協会と災害時における廃棄物の処理等に関する協定を締結し、災害時の対応を強化した。</p> <p>【あま市】 愛知県産業廃棄物協会と災害時における廃棄物の処理等に関する協定の締結に向けて協議を行った。(平成27年度に締結)</p> <p>【豊山町】 愛知県産業廃棄物協会と災害時における廃棄物の処理等に関する協定の締結に向けて協議を行った。(平成27年度に締結)</p>

### 3 目標の達成状況に関する評価

#### ○ 排出量

家庭系については、総排出量の目標 557, 642 t に対し、実績は 523, 500 t で、1人あたりの排出量の目標 185 kg/人に対し、実績は 184 kg/人であり、目標を達成することができた。

これは、市民・事業者・行政の協働により、レジ袋有料化等の発生抑制の取り組みに努めたことが要因と考えられる。

事業系家庭系総排出量合計は、総排出量の目標 740, 088 t に対し、実績は 739, 826 t であり目標を達成することができた。これは、家庭系排出量を削減できたことが要因と考えられる。

なお、事業系総排出量については、総排出量の目標 182, 446 t に対し、実績は 216, 326 t で、1事業所あたりの排出量の目標 1.37 t に対し、実績は 1.62 t であり目標を達成することができなかった。

達成することができなかった要因及び目標の達成に向けた方策等について改善計画書を作成する。

#### ○ 再生利用量

直接資源化量は、目標 4, 270 t（排出量に対する割合 0.6%）に対し、実績は 3, 936 t（排出量に対する割合 0.5%）であり目標を達成することができなかった。

総資源化量についても、目標 307, 906 t（排出量に対する割合 41.6%）に対し、実績は 200, 626 t（排出量に対する割合 27.1%）であり目標を達成することができなかった。達成することができなかった要因及び目標の達成に向けた方策等について改善計画書を作成する。

#### ○ 熱回収量

熱回収量は、目標 205, 489 MWh に対し、実績は 248, 523 MWh であり目標を達成することができた。

これは、計画的な焼却施設や発電設備の整備により順調に発電ができたことや、再生利用が計画どおり進まず焼却処理量が増えたことが要因と考えられる。

#### ○ 減量化量

減量化量は、目標 541, 766 t（排出量に対する割合 73.2%）に対し、実績は 577, 093 t（排出量に対する割合 78.0%）であり目標を達成することができた。

これは、計画的な整備により焼却施設が安定して稼働できたことや、再生利用が計画どおり進まず焼却処理量が増えたことが要因と考えられる。

#### ○ 最終処分量

最終処分量は、目標 42, 525 t（排出量に対する割合 5.7%）に対し、実績は 54, 211 t（排出量に対する割合 7.3%）であり目標を達成することができなかった。達成できなかった要因及び目標の達成に向けた方策等について改善計画書を作成する。

(都道府県知事の所見)

排出量については、目標を達成している。これは、事業系排出量の目標は達成できなかったものの、家庭系排出量の目標が達成できたことによるものであり、排出抑制に関する施策について、一定の成果が出ているものと認められる。

熱回収量及び減量化量については、目標を達成している。これは、焼却処理量が増えたこともあるが、計画的な施設整備の効果や施設の安定稼働の効果があったものと認められる。

再生利用量及び最終処分量については、目標を達成することができなかった。今後は、これら非達成項目に関する施策を中心に充実し、さらなる循環型社会の形成推進に努められたい。

県においても、必要に応じて助言するなどの支援を行っていく。